

婚約式祭文

これの神床に目標としてお鎮まり下さいます 親神天
理王命の御前に 天理教 分教会長

慎んで申し上げます

この度

の長男

は 親神様の奇しく

妙なるお働きにより 長女と縁談が相整いま
したので今日のよき日御前に参出で 婚約の御式をかく
の如く執り行わせて頂いております 近く結婚式となり
天下晴れての夫婦と相成りますが

この世の地と天とを型どりて夫婦をこしらえきたるで
な

とお言葉にありますように 夫は大地を包む大空のよう
に妻は万物を生み育てる大地のようであれとお教え下さ
れております

改めて我が夫 我が妻もその実は生かされて生きる親神
様の可愛い我が子同士であり 又眼に入れても痛くない
両親にとっての大切な息子であり娘であることを自覚し

広い世界にただ一人の浅からぬ縁あつて結ばれる二人
であることを心に治め互いに信じ合い扶け合つて なる
ほどの夫婦なくてはならぬ夫婦となることを目指して
如何なる風雪の中も陽気づくめに今後の人生を辿るよう
共々固く心を定めておりますが 何卒親神様には松の緑
の色濃く呉竹の操正しく八千代の春を重ねて梅の香かぐ
わしく 玉の緒の命長く久しく変わるごとく成人の道
をお連れ通り下さいますよう両家のご家族一同と共に慎
んで御願い申し上げます